わくわく中部

中部教育局社会教育担当より
令和7年8月4日発行

写真:カブトムシ(倉吉市)

8月の体験活動イベント

子どもたちの体験活動を応援します!

開催中~17日(日)
2日(土)~24日(日)
16日(土)
20日(水)~28日(木)

いきものさわっちゃ王国
夏休み自然科学館
夏の星座と天の川を見よう
こどもの未来を育むアート展・ワークショップ

(燕趙園)
(倉吉博物館)
(倉吉博物館)
(鳥取県立美術館)

ちゅうぶくんが行く!

中部のヒト・モノ・コトを訪ねて

浦安地区公民館(琴浦町)

琴浦町役場のすぐそば、浦安地区公民館に行ってきました。

この日は「あったかカフェたんぼぼ」の日。地域の皆さんたちと一緒に、涼しい部屋で、冷たい紅茶とお菓子をいただきました。

年に3回の「あったかカフェたんぼぼ」では、地域の皆さんと、琴の浦高等特別支援学校の生徒の皆さんが交流をされています。この日は、クイズ、体操で交流しました。

クイズは、昔のTV番組「水戸黄門」などの問題で、とても盛り上がりました。楽しい笑い声と笑顔がいっぱいで、カフェの名前通り、あったかい気持ちになりました。

野菜の販売もありました!

水戸黄門の助さん、格さんの本名など、シニア世代向けのクイズで大盛り上がりでした!

生徒の皆さんのリードで、座ったままできる体操をしました。

生徒の皆さんにとっては、高齢者への理解の、地域の皆さんにとっては、特別支援学校や障がいへの理解の取組となっています。

定期的に交流の機会があり、楽しい要素があることで、お互いの理解が、さらに深まると感じました!

地

地域づくりとは、住民が主体となって、地域の課題を解決し、より良い地域社会を構築していくための活動や取り組みの事です。

地域づくりは、行政が一方的に行うのではなく、住民が積極的にに関わり、意見を出し合い、共に活動することが重要です。

地域には、少子高齢化、過疎化、環境問題、経済の低迷など、様々な課題があります。地域づくりでは、これらの課題を住民が協力して解決していくことを目指します。

みちかな地域づくりのススメ

湯梨浜町中央公民館

7月26日(土)

とっとり県民カレッジ講座、「みちかな地域づくりのススメ」に行きました。

はじめに、2つの講演がありました。1つ目の講演では、富山県黒部市を拠点に地域づくりの活動をされている小柴徳明さんから、「自分たちのまちを自分たちで良くしていく」「地域の移動はみんなで作る」など、行政主導ではなく、住民主導での、具体的な取組についてお話を伺いました。人口減少と高齢者の増加が見込まれるという点は、鳥取県にも共通しており、地域活動に参画する機会と、参加する人を増やすことの必要性、重要性を感じました。

2つ目の講演では地元、湯梨浜町の子育てネットワークくぶくぶの岡本梓さんから、幅広い年齢層の人々と協力し、活動を進める方法についてお話を伺いました。「育児が大変すぎる」「地域ぐるみの子育てって何だ」という思いからスタートした取組に、多くの支援者、協力者ができたというお話から、口コミやSNSの力が、とても大きいことを改めて感じました。

講演の後、5人ずつでグループトークを行い、「日常生活のちょっとした困りごと」を共有しました。「暑すぎて子どもが外で遊べない」「捨てられないものが多くて困っている」など、共感できる困りごとが多くありました。そして、グループ内で出た困りごとに対してできることは何か、話し合いました。各グループで、「ありがとうございます」と、アドバイスに感謝する声もたくさんあり、笑顔もたくさん見られました。様々な学びもあり、身近なところから地域づくりについて考えることもでき、充実したひとときとなりました。

今回は、高校生が2名参加していました。様々な世代が、地域づくりに参画することで、より多くの視点から地域の課題を出し合うことができます。また、若い世代の参画は、地域づくりの担い手育成にもつながりますね。

【あとがき】 「暑くても雨が降らなくても楽しい！」

とても暑く、雨がほとんど降らないので、船上山ダムの様子が気になり、船上山へ。ダムは水位が3~4m下がっていました。さらに、カヌーの船着き場は、ダムの底に堆積した黒い泥が広がって、田んぼのような状態になっていました。私が船上山自然の家に通っていた頃は、この時期は、カヌーやいかだで賑わっていたのにと、少し寂しく感じました。

ところが、自然の家に行くと、3団体が利用中で職員さんは大忙しでした。「今年は暑すぎて登山が少ない。今はカヌーなどダム湖の活動はできないけど、谷川探検は人気ですよ!」とのこと。暑くても、雨が振らなくても、船上山少年自然の家は楽しそうでした。皆さんも是非ご利用ください。